

# 魚粉に頼らないニジマス養殖に前進

水産研究・教育機構は、養殖業の経営改善に役立つように、安定的に供給できる養殖用飼料の研究開発と、コストを抑えた飼料でもよく育つ魚の作出を進めています。現在、

普及のための共同研究に取り組んでいます。日本の養魚飼料には魚粉が平均で約40%配合されていますが、価格や供給が安定しない魚粉の配合率を

照群)に低魚粉飼料を与えたところ、アマゴと同様に選抜群では摂餌量が増え、成長や飼料成分の利用効率が改善しました(図2)。

マス類の種苗を養殖業者に供給している山梨県水産技術センター<sup>おしの</sup>忍野支所で、『FRANNEWS』第48号で紹介した安い飼料でも育つアマゴ作出の成果を発展させ、この技術の実証と

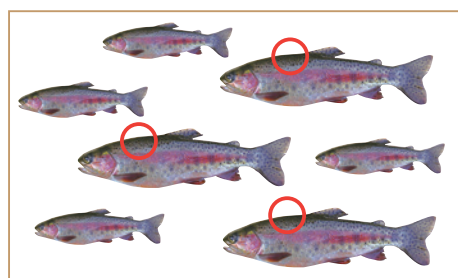
5%に抑えたコストが低い低魚粉飼料でニジマスを飼育し、成長のよい個体を選抜して成熟するまで育て、交配して稚魚を得ました(図1)。この稚魚(選抜群)と通常の稚魚(対

今後は選抜を繰り返して、低魚粉飼料でももっとよく成長する家系を出して、養殖業者への技術の普及や種苗の配布を視野に入れた取り組みを行う予定です。

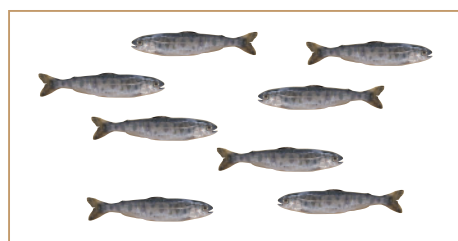
成熟した個体を交配して卵管理・稚魚を生産



成長のよい個体(○)を選抜して養成



稚魚に低魚粉飼料を与えて一定期間飼育



繰り返す

図1 選抜育種

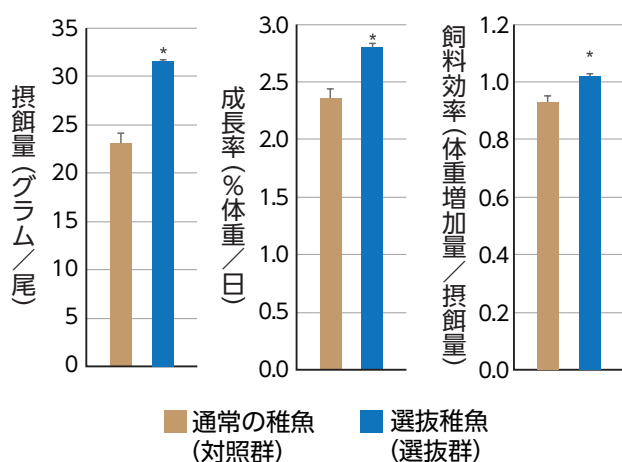


図2 魚粉5%飼料を与えたニジマス稚魚の成長率と飼料効率

(対照群と比べて選抜群で改善が認められました)